

「脳卒中センターでの経腸栄養施行状況に関する調査」のお知らせ

脳卒中や心疾患などの重症な病態においても、点滴だけでなく、早期から腸管を使用した栄養療法を行うことがその後の合併症発生や死亡率に良い影響を与えるという報告が出てきています。当院の脳卒中センターにおいてもなるべく早期からの経腸栄養療法を行っていますが、その有効性と安全性を確認し、今後よりよい栄養管理を行っていくことを目的に、これまでの取り組みの振り返り調査をさせていただくこととなりました。

<研究対象>

当院で2019年9月1日から2020年5月31日までの期間に脳卒中センター脳神経外科に脳卒中で入院され、経鼻経管栄養を施行した患者さん

<研究期間>2021年12月31日までを予定しています

<研究内容>

年齢や性別、既往歴、身体計測値、血液検査結果、経腸栄養開始までの時間、その後の有害事象などを診療録より調べます

<主任研究者>栄養科 小垣真子

研究で集めるデータはこの研究のためにだけ使用します。患者さんのお名前やカルテ番号、住所など個人を特定する情報は含まれません。また、学会や出版物として公表することがありますが、いかなる場合でも個人情報が増えることはありません。プライバシーは守られます。本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で承認されています。

本研究の趣旨をご理解いただき本研究に参加をお願いします。もし参加を望まれない場合は研究から除外しますので担当医師にお申し出ください。研究が始まった後でも自由に参加を取りやめることができますのでその際も担当医師にお申し出ください。ご協力いただけない場合でも、今後の診療に不利益はきたしません。また、ご質問がある場合も担当医師までご連絡ください。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2021年3月1日

脳卒中センター所長兼脳神経外科統括部長兼務 中嶋 教夫

栄養科 科長 川手 由香

栄養科 小垣 真子